

外国等の有する文化遺産及び科学的、文化的又は歴史的意義を
有する展示物に対する主権免除について

２００９年４月２４日に制定された「外国等に対する我が国の民事裁判権に関する法律」においては、外国等の有する文化遺産及び科学的、文化的又は歴史的意義を有する展示物は、我が国の裁判権から免除される（第１８条第２項第３号イ及びハ）旨が規定されています。

このため、我が国において展示される外国等の有する美術品等に対しては、日本の裁判所は、強制執行、仮差押え及び仮処分等を行うことはできません。

文化庁は、この法令に基づき、必要な場合には適切な処置を講じます。

このような事実は、外国等の有する美術品を日本で展示する際、当該展示資料の日本への搬出を可能とするものであると考えます。

ついては、関係者におかれては、我が国での上記のような展覧会が実現し、我が国と他国の国際文化交流が進むよう、御配慮をお願い申し上げます。

文化庁文化財部 美術学芸課